

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（563）

2. 日時：令和5年8月21日 13時30分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、宮本上席安全審査官※、

藤原主任安全審査官、谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他11名

原子力事業統括部 部長（安全審査担当）※、他1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性評価方針について（指摘事項に対する回答）
- （2）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性評価方針について（構造成立性評価の基本方針のうち解析条件の変更点他）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁フジワラですそれは時間なりましたのでヒアリングを始めたいと思います。泊発電所3号炉の防潮てに関する、驚見ですね、事業者の方から説明してください。
0:00:14	はい。北海道電力の高橋です。本日は防潮ての構造成立性に関わる関係の資料をご用意してございます。
0:00:25	まず資料1-1といたしましては、こちらは1089回の審査会合でいただいた指摘事項、これらに対する回答を準備してございます。
0:00:38	さらに、1-2につきましては、構造成立性防潮ての構造成立性評価の基本方針のうち解析条件の変更点等ございますので、
0:00:50	こちらについてご説明すべくご用意しております。
0:00:54	あと、この資料1-1と1-2で取水水の構造が変わります。
0:01:01	こちらにつきましては1-1は指摘事項をいただいた時の構造をベースに考えてございますけれども、今我々が新たに考えている止水目地の構造は1-2になりますので、
0:01:17	こちらの方を最初に、資料1-2の方を先にご説明させていただいた上で、1-1のご説明になろうかというふうに思っております。
0:01:31	またですね、大変申しわけございませんけれども、1-2の資料の6ページ目でございますけれども、こちら基準津波を踏まえた防潮底の高さ変更に関する、
0:01:46	上イトウの考慮方法の概念図記載しておりますけれども、こちらちょっと誤記ございまして、④の地殻変動量をここに入れるのは適切ではなかったと思っておりますのでこちらも含めて、
0:02:01	ご説明しますけれども、次回修正をさせていただきたいというふうに思っております。
0:02:07	それではまずこの資料1-2につきまして、マツモトの方からご説明させていただきたいと思います。90ページ。
0:02:19	はい。
0:02:20	北海道電力の松本ですでは資料1-2の9ページ10ページを用いてご説明させていただきますが、この資料で止水目地がの構造が変更となった場合においても、来資料1-1で説明するアンカー性の試験結果を踏まえた

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	設計とする方針は変わらないというところをご説明させていただきたいと思います。
0:02:41	資料9ページ、資料1-2の9ページをお願いいたします。
0:02:46	こちらのページでは防潮庭の高さが変更になった場合に構造成立性評価において影響があると考えられる項目を整理しております、この中の黄色枠の矢羽根の二つ目、
0:02:57	アンカーボルトA及びBのせん断力というところで、仕様、アンカーボルトA Bの変更、またはアンカーボルトBに発生するせん断力を低減するために止水目地コンクリートを定着部材に変更するといったことを考えております。
0:03:12	下の図で記載をしておりますが次のページにも同じ図面がありますので10ページをお願いいたします。
0:03:23	あと10ページの下の止水目地構造の断面図をお願いいたします。
0:03:28	対策前の構造としましては、ゴムジョイントをアンカーボルトAで、止水目地コンクリートに取り付け、その止水目地コンクリートをセメント改良度に固定する際にアンカーボルトBで固定するという構造になっておりました。
0:03:45	対策後につきましては、ゴムジョイントアンカーボルトではなくて袋ナットで、この定着部材に固定させ、定着部材をセメント改良度にアンカーボルトで固定させるといった構造になっております。
0:04:00	アンカーボルトBがスタン図でいくと、アンカーボルトといったものになりまして、こちらは現在、アンカーボルトBと同じ仕様のものを考えて検討を行っているところです。
0:04:14	ですのでどちらの構造にしましても、アンカーボルトをセメント改良度に固定して、そこで固定させるといった構造には変わりないといったところが今回の対策前対策オノ、構造の内容となっております。
0:04:29	こちらの構造を考えた理由を上黄色枠のところを書いておりますのでご説明させていただきます。まず丸の一つ目ですが、止水目地構造について、防潮低高さの変更に伴い、防潮庭の慣性力が増加し、
0:04:43	セメント改良度の挙動が大きくなりセメント改良度とセメント改良度の境界面におけるせん断力が増大する場合、止水目地コンクリートを定着部材に変更する可能性があるとしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	定着部材に変更する場合、定着部材の軸剛性が止水目地コンクリートと比較して小さくなりセメント改良度の挙動に追従しやすくなるため、境界面のせん断力を低減することが可能であると考えております。
0:05:10	挙動のイメージを右下の図で書いておりますが、対策前の挙動のイメージは、セメント改良度が赤矢印のように大きく動くに対して止水目地コンクリートの挙動が、
0:05:22	小さいと、その差によって、境界面のせん断力が大きくなると考えておまして、対策後の構造では、
0:05:31	この止水目地コンクリートを定着部材のに変更することによって、自治軸剛性が止水目地コンクリートより小さくなるため、止水目地コンクリートと比較してセメント改良度に追従しやすい。
0:05:44	水準して挙動しやすい構造になると考えております。これによって、挙動がセメント改良度と同様の挙動となりまして境界面のせん断力が小さくなるというふうに考えております。
0:05:56	丸の三つ目ですけども、こういった止水目地構造を変更したとしても、セメント改良度にアンカーボルトを固定する構造であることには変わりないと考えております。
0:06:08	このためこの後資料1-1で説明させていただくアンカー試験の結果については、止水目地構造を変更したとしても、何か試験結果を踏まえた検討、設計を行っていくという方針には変更はありません。
0:06:20	丸の四つ目ですが、アンカーボルトの仕様を変更する必要性が生じた場合、アンカーボルトの性能試験によりセメント改良度への適用性が確認された、この資料1-1で説明しますが、
0:06:32	確認された各種合成構造設計指針に基づいて仕様を変更するというを考えております。
0:06:40	もし、アンカーボルトの仕様が今回の性能試験で確認した仕様以外になる場合については、
0:06:46	合成構造設計指針に準拠して仕様は変更するんですけども、アンカーボルトの性能試験を再度実施して、工認段階で説明したいというふうに考えております。
0:06:57	以上が9ページ10ページのご説明になります。
0:07:01	はい規制庁藤原ですちょっと一旦ここで区切らせていただきます。で、ちょっと私、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:08	まず資料1-1とこの1-2の9ページ10ページの関係をちょっとまず具体的に確認したいと思いますがこの9ページ、1-2の9ページで、
0:07:16	一つ目の丸で、
0:07:19	評価において、項目あと協議会を満足できない場合の対策って書いてあって、これはどうごめんなさいねここでたいんだろう、9ページの表で、対策前と対策後って書いてあるのは、
0:07:33	仮に、
0:07:35	満足できない場合があったら、こうするというのが対策後で、
0:07:40	基本ケースはこの対策前の話を言われてるんですかそれとももう、そんなの関係なく、すべて対策後の形にこれからやりますと言ってるのか、10ページとかを見ると、
0:07:51	へんて例えば10ページの上から二つ目の丸ですか。
0:07:55	定着部材に変更する場合と書いてあって、
0:08:00	北海道電力のナカアノ方針が、要は抜きたいのが、
0:08:05	変えたのかそれとも変わる可能性があるけど何かちょっと細かく説明してんのか、どっちかよくわかんないですよ。
0:08:11	これどういうことですかね。
0:08:16	はい。北海道電力の田澤です。ちょっと行き、9ページではちょっと言いきれないのがちょっと申し訳なかったです。
0:08:23	江藤。今このアカシ、
0:08:26	眼科についてはもうこの降雨対策後の構造に変えていこうというのが、方針なんでちょっとこれ読み取れて読み取れていないので、ちょっとこの段階では、
0:08:39	構造成立性の評価方針としてはちょっとまだどっかわからないっていう書き方をしてしまったんですけど本方針としては、変える対策後の方に変える。
0:08:49	方針です。ただこの内的案左、この表、9ページの左側にある内的安定とかですねその都度、それはずっとどっちにするかわからないとかですね、あるんですけども、
0:09:00	大社のアンカーボルトの方については、
0:09:03	もう、
0:09:05	下の方の方針で、
0:09:08	見直していきたいというのが方針でございます。規制庁の江寄ですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:12	こういった白。
0:09:13	出されると、審査会の中で揉めるんですね、どういう解釈しているのかですごく時間かかるし、
0:09:19	たくさんコメントを出してもらってるんだけど、じゃどのコメントを出せばいいのか。
0:09:23	非常に混乱を招くので、以後、前からそう言ってますけど、以後含めて、やめていただきたい。
0:09:32	いわゆる審査妨害に当たりますよこれは。うん。
0:09:35	これを繰り返すのであればいいですか。
0:09:37	それは気をつけてください。はい。北海道電力の辰田です申し訳ございませんでした
0:09:42	それでもしちょっと後で説明する資料1-1でも、して、コメントいただいていたので、
0:09:49	止水目地の構造がございましたのでちょっとそこの関係を考えてみるとちょっとこういう記載になってしまったのが、原因でございますのでちょっとその辺を改めさせていただきたいと思います。大変失礼しました。
0:10:12	規制庁フジワラでちょっと庁内打ち合わせすいません少々お待ちください。
0:16:34	はい規制庁藤原ですちょっと今庁内打ち合わせが終わりましてちょっと再開させていただきますと、はい我々の方でちょっと今、庁内で打ち合わせしたのが、
0:16:44	結構構造が、なんすかね今対当初私何だろう、何か問題があったら変える可能性があるとしたら、この文章読めなかったところ、
0:16:54	もう何かこれは、そうではないというのはもう変えるんだ。
0:16:58	というだったらじゃあ、この資料1-1とかの内容がどうかって、これに関してじゃちょっと長南アノ内野、我々の方からちょっと質疑を再開します。規制庁の江寄ですが、
0:17:08	そちらの考え方がよくわかったんで、基本的に、
0:17:12	この10ページ9ページで書いてある止水目地構造対策後、
0:17:17	ものをこれから、
0:17:19	中心にてそれを採用して検討していくんだというお話でしたら、
0:17:25	対策前で出ていたこのアンカーボルトAB等に関係する、
0:17:31	論点で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:32	ある意味ないんですよ。ないというよりは終わったということではなくて、
0:17:36	一貫それはもう全部白紙に戻していただいて、
0:17:39	根本的に構造を変え、荷重が大きくなったんで、
0:17:44	変更しましたので変更した変更後の構造に対して、
0:17:49	論点があるやなしや、それを議論していく必要があると思っ て、
0:17:54	もううし、ここの今後その詳細設計の入った段階でも使用しない ものに対して、
0:18:00	審査会合を使って議論をするつもりはないのでそれを抜本的に会 合で返さなきゃいけないんですけど抜本的な構造変更、見直しに伴 って、
0:18:08	1からもう一度説明いたしますという、
0:18:11	井清になっていただくという説明が必要になるんじゃないかなと 思いますけど。
0:18:16	コメントに対してどうこうというそれはなんかね確実的な回答し か出の意味しかないので、それを我々の審査会合で求めているもの ではないですよ。
0:18:24	学会じゃない土木学会でもないし建築学会ではないので、もし機 械学会でもない必要ないと思います。
0:18:30	そういうことで、もう一度ここはちょっと考え直していただく必 要があって、
0:18:34	ただし、
0:18:35	ただちゃんと皆さんの説明会で行って、
0:18:38	このね、例えば10ページ。
0:18:42	とか見たときに、
0:18:44	対策後っていうのはこのアンカーボルト2種類、せん断系と引抜 系と二つあるんじゃないか、ものとして、或いは見えるけど、
0:18:52	何かの位置が近づきするHeadが地下防ぎますよねって監視し やすく、じゃあこの主幹をどのぐらい話せばいいのか、動画埋 め込めば、
0:19:03	関係しないのか。そう。それによってですね、二つのアンカー の、
0:19:10	うん。
0:19:12	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:14	付近のですね、応力のバッキング応力状態ってのはどういう応力状態になるんですかと。
0:19:20	それって普通の引き抜きしか考えない、アンカーとかそういった設計とは一緒にいいのかって話が出てますせん断権なるかもしれないけど、千田せん断しかかかってないだろうけど、
0:19:30	引っ張りもかかる場合もあるけど、こんな不服こういうような直交するような状態でかかることってあるのかという学部で、
0:19:37	そういったときに、実際どういう応力場になってるんですかってそれなんか有限予想の制限、弾性解析とかして、どういうことが確認してますって話があるし、それでとにかくがどれだけとったらいいか、構造細目的な話ですよ。
0:19:51	それって、
0:19:54	うん。
0:19:55	この指針に出てるんですかって話だよ。こういう使い方。
0:19:59	適用範囲に入ってますって話がありますよね。
0:20:03	一応、これからなんでしょうけど大体いミイた私の所感としてはある程度そういうセメントとしても、構造設計、合成指針は使える。
0:20:13	てのめどが立ってるかもしれないけど、実際にコンピューターとしてもこういう使い方ってあるんですかって話ですよ。
0:20:19	適用性あるんですかとそういったところが、
0:20:22	考えていった時に使えないってわけじゃないですよ。それを証明していかないといけないですよ。だから、
0:20:27	単に1-1を説明して、することで、
0:20:30	対策前の対策も、論点は全部説明できてるかっていうのはね、できてないですよ。
0:20:36	はっきり言って、
0:20:37	ね。
0:20:39	単純に、
0:20:40	ヒトミたらそそれがウノヒトミただけでそれが出るんだったらさ、もっと深く追求性も出るかもしれないじゃないですか。
0:20:46	だから、
0:20:47	ちょっと、
0:20:48	議論するにはまだ十分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:51	1-1ではデータがそろってないと思いますよ。だから、もう一度その対策としてもう1回繰り返し直さないと、
0:20:59	駄目なの1の一井岩田君は対策前としては十分であるかうちの審査会もいろいろ質問あるかもしれないけど、
0:21:08	それはそちらで
0:21:09	まず変えて、資料実験して整理されたんだと。
0:21:13	ただ、対策を、
0:21:14	ということに関しては、
0:21:16	荷重がもうかなり大きくなったということもあって、こういう形になってるんでしょうけども、
0:21:21	それに対して十分、
0:21:22	その損傷、例えばさ、うん。
0:21:25	さっき言ったアンカーボルト同士の離れや改良地盤の強度低下の関係性。
0:21:31	ていうのはわかんわからないですよね。
0:21:36	審査をどうやってするんですかって話でね、何も書いてないのにな。
0:21:40	指針等で、
0:21:42	②番、アンカーボルトと、
0:21:45	セメント改良の相互作用、似たような話ですけど、
0:21:49	そういったことも特にコンクリート改良度の応力状態どんな応力状態なのかさっきちょっと、
0:21:54	あるんですけど、それと、それらを踏まえて、想定される損傷モードとその設計的な
0:22:01	対応、
0:22:02	対応策ってのは、す。
0:22:04	整理して示していただかないと。
0:22:06	何が論点なのかよくわからないですよね。
0:22:09	それでは1-1のような資料をつけていくんでしょうけどそれで足りるのかどうかって話で、いわゆる、二つ目大きい二つ目としてはさっき言ったように、
0:22:19	今言っているこの堆砂対策後の、
0:22:21	アンカーと、この1の資料1-1の関係性を明確化してくださいってことと、
0:22:27	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:30	で、資料1-1の試験結果がアンカーボルトの仕様変更に対して適用性があることを説明してください。
0:22:37	探って言うとそれをまずやってくれないと、本当具体的な話が審査会合にはかけられないと僕は思ってます。
0:22:43	私から、
0:22:45	そこまでですね。うん。うん。
0:22:53	はい。北海道電力の辰田です。
0:22:56	衛藤。まず、この構造というか、
0:23:00	基本構造。
0:23:02	というのがまず変わってるってということとそういう詳細がまず進められてないということと、
0:23:07	当間そもそもモードからくる新しい論点が、の再整理しなきゃいけないというところをちょっと受けとめております。
0:23:15	そこ、前回あったこの上段で言う対策前の、止水目地コンクリートがあった状態での応力のかかり方だとか、
0:23:26	それがアンカの配置だとかそういうところの経験等が、
0:23:30	対策後のこの日、10ページの表の下の対策後の絵でちょっと見えんなら見せてないところがございますのでまずそこからだということを受けとめましたので、
0:23:41	ちょっとそこを、まず、基本構造こう変わりますというところをまず整理をさせていただいてから、
0:23:48	これが
0:23:50	必ず適用できるのか、セメント変えるに適用できる範囲なのかというところをまず説明しなきゃいけないというところが理解、そういう認識でありましたので、
0:24:00	ちょっとその辺、やり方含めて、
0:24:04	進め方、メーカーと含めてちょっと検討させていただきたいなと思います。
0:24:12	規制庁の三浦ですけど、今矢崎が話した通りの内容だと思うんですけど。
0:24:19	これあれですよ9ページの対策前と対策後でくると。
0:24:24	これ一ちょっとアンカーボルトの持つ意味合いにも変わってますよね。
0:24:29	これウエダと慣性力したい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:31	でも考えられるでしょう強化面に働くせん断力とか引っ張りに対して、
0:24:36	下だとこれ慣性力ほとんど働かないですよ。
0:24:39	おそらく津波波力ぐらいに、
0:24:42	そうする、アンカーボルトに引張力とかせん断力が入る程度。
0:24:47	非常にその割合は小さい。
0:24:49	なので、あそこまで、
0:24:51	終局状態まで全部チェックした実験が要るか要らないかっていう話も、本当はそこに関連してくるんだけど、大きな目で見れば、地盤改良に対するアンカーボルトの性能って意味では、
0:25:04	これにも適用できる範囲かなというふうに思います。
0:25:08	で、
0:25:09	ちょっと気になったのが、私もあの資料を見たときに、今回、かなり力の流れも変わってしまってるので性能試験って本当にどこまで意味があるのかなと思ったんですけど。
0:25:22	揖保御説明なられた時に高強度部と、
0:25:25	あと、セメント改良どぶ。
0:25:28	そこもこれと同じようなボルトでつなぐというお話をちょっとされたような気がするんですよ。
0:25:34	あそこの部分はまさに慣性力主体になってくるので、
0:25:38	この実験が本当にきちっとリンク。
0:25:41	してくるのかなと思って。
0:25:43	思いました。ですから、
0:25:45	まずは、今回こういうふうに変えようと思ってるんだから、
0:25:50	そのディテールに対して今回、構造的な力の流れとしてはどういうものを荷重として対象としているのか、それに対してどういうふうな
0:26:00	力の伝達機構を考えているのか、それとあと高強度部。
0:26:05	これに関しては慣性力主体のものが入ってくるので、そういう場合にはどういう力が入ってきて、
0:26:11	どういう荷重に対してどういう力が入ってくるかと明確にしとけば、
0:26:15	実験とリンクしてくれるのは結びついてくるような気がするんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:21	私はちょっと、むしろ今回ディテール変えましたっていう都市整備に対してね。
0:26:28	実験っていうのを何か合わしてくるっていうか、適用してくるってのはそんなに意味がなくなってきてて、
0:26:34	むしろ高強度ブーのアンカーボルトの方が、
0:26:37	主体的に書かれてもおかしくないかなというふうに思いました。
0:26:41	そういう意味で、
0:26:43	ちょっと全体として資料をまとめ直した方が、
0:26:47	いいんじゃないかなという気がします。
0:26:52	はい。北海道電力の立田です。
0:26:55	三浦さんのご指摘の通りですね対策マエダとコンクリートとセメント改良度が、それを接続するのが、
0:27:06	表リブツ対策にも考えた高強度部というのを接続はまさに、一緒に使える、何か試験をつけ一緒に使えるという、
0:27:15	話で進めてましたけども、今のこの対策は、おっしゃる通り
0:27:20	コンクリートがなくなったことで、確かに剛性差とか、あとカジュン伝達が全然違いますので、そこも含めた整理が必要かなと今ちょっと思いましたので、ちょっとその辺も改めてですね、
0:27:32	今回の辺、目地の変更と、あと漂流物対策の公共分のそこへの適用それをどういう知見を適用できるんだとかですね、荷重の伝達考えて、
0:27:44	その辺も含めて整理をさせていただこうかなと思います。以上です。
0:27:51	四宮ですそうしていただくの方が、我々と資料としてわかりやすくなると思いますんで、
0:27:58	それで、
0:27:59	ちょっとこの対策後っていうのの、
0:28:02	考え方がよくわからないんですけど。
0:28:05	これはあれですよね市政5分に働く津波波力に対して、こういうふうな、
0:28:12	アンカーボルト等の補強形態を考えましたって理解したんですがそれでいいですか。
0:28:42	北海道で、
0:28:44	北海道電力の千葉です。こちらの江藤新対策後の止水目地構造につきましては、津波とあとはその地震によつての湯による、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:55	慣性力のその二つを想定して発生するアンカーに発生する力を想定して、江藤清宮照査をしていくものと考えております。その慣性力ってというのはどの慣性力ですかここに入ってくる。
0:29:11	これ慣性力はいらぬですね。
0:29:14	その止水ゴムとその何とかナット袋ナット分ぐらいの慣性力が入ってくるかもしれないけど、
0:29:21	その物だってい下部構造全部地盤改良どこ一体構造ですね。この部分に関する管内ですね。
0:29:30	いや、ちょっとその辺も整理をしておいていただくといいんですけど。
0:29:34	うん。
0:29:37	北海道電力の佐藤です。
0:29:39	江藤慣性力と申し上げたのは、この
0:29:43	まだ、
0:29:44	詳細な設計結果を示したわけではございませんけども、このモデル時にですねここをビームでモデル化してしまして、そこに対して、
0:29:52	衛藤、
0:29:54	この定着部大なりの合成と入れてまして、
0:29:57	その曲げ剛性と、
0:30:00	そこをばねで、
0:30:02	提案とかいろいろとくっつけてるものですから、ここ出てくる。
0:30:06	あれなんだ。じゃあ、これもちょっと聞かないだなというふうには思ったんですけど。
0:30:12	何か力の流れを、
0:30:14	ちょっと何か書いた絵がありましたよね。
0:30:19	10 ページ。
0:30:20	10 ページの上の方は、これ当然室イメージコンクリート部と地盤改良部の境界面に慣性力がモデル化。
0:30:28	そしてそういうふうに向こう、例えば関西力入ってきますよね。
0:30:31	下の方なんで慣性力入れなんで鯉江が書いてあるのかなと思ったんですけど。
0:30:37	これは上部の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:39	プレート部とかそういうのをこうモデル化しているイメージ場合オオツカ中で、
0:30:44	だから冠水が入るって言うてる
0:30:46	そこはそうやってもいいけどあんまり意味がなかったと思えないけど、わかりました。
0:30:52	それで、
0:30:53	それ言う、例えば、
0:30:55	津波波力とか慣性力に対して、
0:30:59	これ、特に津波波力に関して見れば、
0:31:03	止水本部に働く部分の波力に対して、
0:31:08	袋納豆でまず押さえますよね。
0:31:11	袋ナットで抑えた力っていうのを、パンカブルで流さなきゃいけないですよ。
0:31:18	そうすると、これプレート1枚の剛性じゃ絶対公平にならないですよ。
0:31:24	また、リテールそのものも何かこう力の伝達が成り立ってないようなディーテルになってるような気がしてしょうがないんですよ。
0:31:32	袋納豆で抑え込んでる部分がプレートにこれ多分袋ナットつけて、そこでコンクリート中に、ナット埋め込んでるんだと思うんだけど、そこに働いてくる引張力か何かをアンカーボルトに処理するっていう考え方だと思うんですよ。
0:31:48	そうするとその構成プレートだけでは、そんな低く伝達できるような構成持ってないですよサングセットか。
0:31:55	あと定着部もよくわからないこれ。
0:32:00	そこへ、定着後これ多分引っ張りとか、取水系とかで引っ張り力とか処理してくるんだと思うけど、そこに至るまで、
0:32:08	後からの流れが構成プレートで流し切れるのかなとかちょっとよくわからないなと思ったんですがその辺はどういうふうに、
0:32:15	考えられてるんですか。
0:32:17	藤袋ネットで、北海道電力、
0:32:21	久留、
0:32:26	はい、わかりました。
0:32:29	北海道電力の佐藤です。
0:32:31	袋ナット図から、定借。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:34	デザイン、そしてアンカーボルトへの力の流れとしては、開けて、
0:32:40	定着部隊もこの
0:32:42	なんていう、
0:32:46	アングルのちょっと大きめなぐらいの形で、迎合性、そういったものを、
0:32:54	設計はしています。
0:32:56	いや、それでね、多分そういうことを織り込んでこの図だと思うんですけどもエザキの指定して議も流れ、関係するんですが、こういうものに対して、
0:33:07	どういうふうな力の伝達機能を考えてるのか。
0:33:11	各部が持っている役割って一体何なのか。
0:33:15	ということをやっぱりこう整理しておく必要があるんじゃないですか。
0:33:20	今の話でその場合予想か何かでモデル化してるから慣性力がわずかに入るってのは理解しましたが、
0:33:27	何ていうかディテールの役割、そういうことを整理した上で、
0:33:32	ここの分野どういう力が入ってね、それをどういうふう処理するっていうのを合わせてちょっと説明をしていただかないと、
0:33:41	まずいのかなというふうに思いますが、いかがですか。
0:33:45	北海道電力の佐藤です。
0:33:47	応力伝達について、この
0:33:50	対策の形状で、どのように行われるのか、リテールを整理するようにいたします。
0:33:58	シミズそういうものもあわせて投稿強度部のアンカーボルトも合わせて、前段のストーリーを組んでいただいて実験につなげていくってような形で、
0:34:08	資料を再構成されて話していただいた方がいいんじゃないかなと思います。
0:34:15	北海道電力の辰田です。今のご指摘踏まえてそういうものを、前段も申しあげましたけども、
0:34:21	高強度部との使い分けと、今回止水目地との関係と、あとそれと、それに、何が論点で、次どういう実験で、適用できていくかという、そういう流れが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:32	不足してましたのでその辺を整理させていただきます。以上です。
0:35:29	そうですね、実験はフジワラの方でかなり細かい話なんですけど、ちょっとした、
0:35:35	10 ページ目の、
0:35:38	対策後のアンカーボルトって横方向に入ってる冒頭ありますよね。
0:35:44	これってどうやって施工して、
0:35:46	どうやって健全性をやるのかっていう、これは施工できるんですかっていう疑問があるんですけど、だってこの間って2センチとかすごい。
0:35:56	ないはずですよ。
0:36:02	北海道電力の立田です
0:36:06	アンカーの頭がこうくっついてる。
0:36:08	近いところですよ。
0:36:11	プレートマーク等、
0:36:14	これJ I S、実際はですね。
0:36:18	こっち取りは、
0:36:22	プレートに固定したまま、何かが、
0:36:27	そういった状態です。肩がわりにつけていくんですけども、この隙間がどのぐらいかっていう、ディテールの話ですか。これ施工法で、なんていうの。
0:36:39	縦と横のアンカーボルトを片側に入れるということは、
0:36:44	これ固まってからまず次をつくるという手順なんですか。いや、これってどうやって施工して、どうやるんかなって。
0:36:52	いうのがよくわかんなかった。はい。うん。
0:37:31	もう、鉄筋でいわゆる段取金みたいなないと、それからアメリカなんかで鋼材作っとかないと、これ。
0:37:39	ううんと自立しないですよ。
0:37:43	いや、でもいや僕心配したのは、平和何でも書けるんですけど、本当に施工できるんですかっていうところは、ちょっと疑問に思いました。はい。
0:37:52	はい。北海道電力の辰田ですちょっと
0:37:56	対策前の時にも施工のフローみたいのを示させていただいて、
0:38:02	ちょっと今回対策後のやつがなくて申し訳ないんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:38:06	この止水目地自体が斜めのところに、松永につきますので、型枠は必ず必要になってきますのでその型枠に、この構成、この
0:38:19	定着部材と、
0:38:21	阿藤家のアンカーボルトがもうついた状態で、もう硬くと一緒にイセ行方区と設置した状態で、据えつけてくるセメント変える
0:38:33	流し込みという予定を今考えてます。ちょっとその辺資料化をさせて今後させていただきます。だから捨て型枠みたいになっちゃうってことですか。
0:38:42	全体的に、
0:38:44	そうですね型枠の一部という形の施工になります。
0:38:48	わかりました。いや、いずれにしても構造的な話もさることながら、これが本当に施工できるかっていう、寸法もないんでわかんないです。
0:38:57	今後、施工も踏まえて教えていただければ、そうするとす、施工とか、今後実験やる時に、
0:39:04	その施工も踏まえた実験をやらないと、あんまり意味がないところもあるんで、
0:39:10	その点は
0:39:12	ぜひご検討の方、よろしくお願いします。はい北海道電力の立田です。江藤施工のフローというかですねこの流れがわかるようなところも含めて整理をさせていただきます。以上です。
0:40:05	はい。規制庁藤原です。大体の趣旨は、
0:40:10	伝わったと思ひまして
0:40:13	そうですね何か。
0:40:15	対策後の話として中心に置かないと、また、資料1-1ってのはそもそも対策前の、
0:40:24	というのはやっぱり試験、アンカーボルトBかながやっぱり重要だったっていうのがあってそれにフォーカスを当てたやっぱり的になっていので、やっぱり今、繰り返し、エザキとか、ミウラとか何かされてるように、
0:40:38	1回ちょっと全体を、もっとも立ち戻って整理して、
0:40:43	本当の対策後としての論点がなんぞ。
0:40:46	ていうところになってまとめ資料含めてですね今回まとめ資料がないので、今回施工方法がどうやとか話もあったと思うんですけど、そこをちゃんと整理して欲しいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:57	もう一つだと、例えば対津波の方でもアノサンゴ逆流防止設備、放水ピットかな、あれも何かもともとついてなかったのをつけました。あれも何か指摘ってのは付けない状態を出した指摘に対して、
0:41:10	岩月だとかいうふうんそういった事例も多々あると思いますので、一応そういったものを踏まえて再度構成をちょっと見直しただけのようにお願いします。これはまあ、それはいいとして資料1-1。
0:41:22	これに関してはちょっと、
0:41:24	もう詳細の説明ちょっとまた別途
0:41:28	今後資料再度構成したときにちょっとまだ話をさせていただきますけど、説明をいただこうと思いますけど今現時点でこの資料の中でちょっと我々としてはちょっと、
0:41:39	気づいた中身ですか。ちょっとアンカーボルトBがどこで重要かってのが正直、
0:41:45	7の重要性がちょっと見えないんですけども、少なくともせつかくやった実験ということで、規制庁の方から確認を続けたいと思います。
0:42:00	規制庁藤原です私の方から、資料1-1の4ページ。
0:42:08	4ページで、
0:42:11	この黄色い回答の中の下から二つ目の、
0:42:17	話ですかね。
0:42:20	この回答ってのは上ストレインの下から二つ目の
0:42:23	異常よりより上の内容を踏まえて、要はこのアンカーボルトの
0:42:28	設計用はセメント改良の定着するやつですかというのはその会合5接しに、
0:42:34	適用性があると。
0:42:36	これがちょっと何かすごい何か、
0:42:38	違和感があってですね、実際これ試験をなんか、
0:42:42	イイダってある条件に基づいたし、実験結果の範囲のやったら要は適用性があるっていうふうには私はちょっと今全部の資料ちょっと読んでみたんですねでも、
0:42:53	この事業者の今回の資料1-1全体を通じて見ると、
0:42:57	何やらこの各種合成構造設計指針というのは、
0:43:01	セメント強度がちっちゃいセメント改良であっても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:05	全部もう無条件適用できるんだっていうのをちょっと私、
0:43:09	何か見えてしまったんですね、実際これ、事業者としてどう考えてるんすかね、ある限定した条件の範囲内だったら、適用性がある、それとも何かもう無条件で、もうセメント改良どのすべての、
0:43:21	この6.5かな。
0:43:23	私も適用性が、どっちを考えられてるんですかちょっとまずちょっと、
0:43:28	そこについて説明してもらえますか。
0:43:35	北海道電力の立田です。この表現数全部適用できるような形になってますけど実験としては6.5ニュートンスの付近での確認ですので、
0:43:47	6.5ニュートンから上のセメント改良度という意味で、という認識です。以上です。はい規制庁シゲマスアノもっと具体的にいくとアンカーボルトの仕様ですね例えば感覚だったり、
0:44:01	床の埋め込み深さサトウ、そういったもろもろも多分実験で決めてますので、町財津たちは違うのがあるかもしれないけど、そういったところも一応、
0:44:13	適用範囲としては一応、その範囲内でやるっていうことが言ってるんだったらそこがちょっと見えないなど。
0:44:20	いうことだけもうちょっと記載が充実が必要かと思いますがいかがですかね。
0:44:25	北海道電力の辰田です。今ちょっと強度に着目して申し上げてしまいましたけども、その強度範囲でいけば、それ以上で6.5以上でいけば、間隔だとか材質だとかアノ的指針を適用して決めて、
0:44:40	ことでこの試験結果問題ないという認識でございますので、ちょっとその辺が、
0:44:46	どういう条件範囲のもとでっていうのが、
0:44:49	記載が抜けてますのでちょっとその辺は、整理をさせていただきます。以上です。はい。規制庁志賀ですわかりました。この試験、実際やられてる試験でどういった感覚でやってるとか、深さとか、何かあんまりちょっと私、
0:45:03	見かけた記憶がなかったんですね。そこをまず試験でまずどうやったで、実際野瀬設計では、どういうふうにするのか、イコールなのか、それともちょっともっと密に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:15	貯油保守的にやるとかいろいろあると思うんでそこはちょっとご検討ください。よろしいですか。
0:45:21	北海道電力の辰田です。多分今のご指摘を踏まえてと。
0:45:25	お母さんとか系とか設計でどういう対応するのかというところも含めての、記載を充実させていただきたいと思います。以上です。
0:45:34	はい。江藤規制庁藤野です。続きましてこの資料1-1の5ページで、ここで何だろう、5ページの下の方の※注記書きの※2かな。
0:45:45	この記載がもうちょっと丁寧な方がいいのかなと。ここの※2っていうのはですね、要はAとC、何だっけな。
0:45:54	実際の試験ではS C M4 サンゴをやってるけども、実際はこのS S 400 マツダですので、
0:46:03	理由っていうのは何かあんまり明確に書かれてないんですね。
0:46:07	多分実際はあれですかね、何か要は、
0:46:10	これワース。
0:46:14	結構、鉄筋とし暑うに関する体力が近接してるから、
0:46:19	要は何かし、
0:46:20	県においてはそのシアツ破壊の体力を、
0:46:23	極力ばらつきの影響がない、セメント改良の毎月影響ない感で出したために撤去多分強くされてですね、その人がちょっとごめんなさいここの※2が見えないんですね。
0:46:34	なのでちょっとここはもうちょっとわかりやすく、これだけ見ると何か実験棟なんか材質違うじゃないかっていう話にしか見えないので、もうちょっと丁寧に回答いかがかと。
0:46:46	ということですか。どうですかね。
0:46:53	北海道電力の佐藤です。藤原さんのご指摘の通り、想定された通りのこととして、
0:47:00	江藤実験所のシアツと、
0:47:05	高温の破壊の足跡、アンカーボルトの交付の体力の関係から、
0:47:09	もう少し強度、
0:47:11	ばらつき等を考えたときに、アンカーボルトの方の強度を高めたいという理由で、
0:47:17	S C M4 サンゴを使っておりますんで、
0:47:20	実験としては、弾性係数はほぼ一緒ですから結果としては変わらないものになってると思ひまして、衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:27	この※2の記載について、適正にしたいというふうを考えております。
0:47:33	はい。衛藤規制庁フジワラですわかりました。さっき私が言ったその実験数の条件ですか。絡めて、ちょっと実験条件はこれだけでもこっちが理由はこうですよって明らかにして、
0:47:45	要は設計はどう、どうかってどっちが整理いただくようお願いします。
0:47:49	北海道電力佐藤です。承知しました。
0:47:52	はい。
0:47:53	今の部分なんですけど規制庁の三浦ですけど。
0:47:56	これアンカーボルトの降伏共同S S 40 頭 400 頭、S C M 4 サンゴ、これどういう数字を使ってるかってのはこれ、
0:48:06	注記ん時に括弧でもいろいろ言うたらどうですか。
0:48:10	北海道電力の佐藤です。承知しました。
0:48:13	8号か何か使ってるんでしょうこれ。S C M
0:48:17	違うのかな。
0:48:18	これ工業の経営あれですよ。
0:48:21	後継のやつはアンカーボルトですよ。’ボルトみたいなやつは効力ボルトみたいなやつですよ。
0:48:28	ちょっと数字がちょっと追えるように、
0:48:31	入れといていかがか。いろいろいただいたかと思うんですが、どうですか。はい。北海道電力の佐藤です。交付強度について、実際の交付、
0:48:40	のアノ値を記載するようにいたします。
0:48:45	規制庁藤原です。続きまして衛藤氏、9ページ、資料1-1の9ページで、
0:48:52	これ記載だけかもしれないですけども
0:48:57	黄色いハッチングの中の上から三つ目のマルかな。
0:49:00	藤線、破壊、せん断荷重が50件到達すると、せん断試験体が破壊、この破壊という単語なんですけども、
0:49:12	これ、せん断破壊なのか、ちょっとシアツ破壊なのかとかいうところがちょっとなんか、なかなかちょっと読みにくい。実際資料なんか細かく読み解けば、この破壊が意味してることは
0:49:24	わかるんですけども、これは何かどっちなんだろうというのがちょっとわからないんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:29	多分あれすかね反力課題の影響が、試験結果に破壊形態として現れているから、
0:49:37	その影響が出る前の、
0:49:39	サカイを観察するために別途試験をした方が多分この書かれている内容目的だと思ってるんですね。なのでちょっとこの、もうちょっとこう丁寧に書いたかいという言葉について着目して、書いていただいた方がよりわかりやすいと思いましたが、
0:49:53	どうですかね。
0:49:58	北海道電力の千葉です。コメントの趣旨承知いたしました。江藤チハラさんにおっしゃっていただいた通りこちらの破壊については、
0:50:08	後の補足説明資料4番に書いてある、反力値があることで生じる破壊と、と考えておりますけれども、ちょっと江藤本文の方の資料にそういったことがわかるような記載がちょっとなかったの
0:50:20	で、
0:50:20	ちょっとわかるように記載修正したいと。
0:50:23	はい、規制庁井澤ですわかりました。続きまして、11ページですかね。
0:50:31	11ページはこの許容限界の設定方針で、細かいことですが、
0:50:37	低減係数っていうのが引っ張りとあと剪断で、
0:50:43	それぞれ何か4月サカイについて何かちょっと、
0:50:46	引っ張りの方なんか棒がバスターになってて、
0:50:50	せん断の方からこれと、三分の2点記載されてますと。
0:50:54	これについては確かに各種合成市の方では、千駄ヶ谷高を三分の2って何か書いてるのはわかりました。
0:51:04	ただなんかやっぱこんこれだK m i nと何か何Dじゃ引っ張りって、
0:51:08	3分の2じゃないのっていうふうにちょっと見えてしまうのでその理由って何か、何らか書いた方が、
0:51:15	いいように思うんですけど。
0:51:17	どうなんすかね。これって何か。
0:51:20	説明つけますかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:00	北海道電力の佐藤です。今の藤原さんのご指摘、趣旨、理解しました。この場合について、注記で、このコメントするようにいたします。
0:52:14	と、
0:52:17	今、
0:52:27	しました。
0:52:29	香西ニッタ 0。
0:52:32	引張の 1 点。
0:52:43	違ったほうがいいですね。
0:54:25	北海道電力の辰田ですちょっと横並び海田の並ぶと、ちょっと 1.0 と三分の 2 がございますのでどういう過程でこれが数、
0:54:36	どういう下階モードなのかっていうところ押す整理しながら、どういふことで決めていこうかというところから、設計の方にどう反映していこうかということ、
0:54:46	ちょっと書き出してみても、ちょっと整理をさせていただこうとかちょっと書ききれぬかどうかをちょっと、
0:54:51	ちょっと検討させていただこうと思います。
0:54:58	はい、規制庁者ですわかりました。つづ。
0:55:03	見ていいですかね。11 ページの方で、同じく 11 ページか、この表が
0:55:09	表とかグラフかな。
0:55:12	あつてこの斜めに破線がびつと引張られてるやつがあるんですけどこの波線はどうやって作ったのかっていうのがすごくちょっとわからず、引張りの方は何となくなんですかね。
0:55:23	この 2 点鎖線っていうかなと。阿藤舞音。
0:55:28	この交差する実験のデータ交差する点でやってるかなと思うんですけど。
0:55:33	せん断の方がちょっとよくわからなかつたんですねこの 7、斜めの点線のやつ、この名前の訂正とこれどうやって作ってるんですかね。これ、面白かつたちゃんと。
0:55:42	説明を書いて欲しいなと思つてまして。
0:55:46	いかがですかね。間瀬アノちょっとどう作つているかという説明と、あと、記載を充実いただけないですかということ、
0:56:09	北海道電力の白川です。基本的にはフジムラさんがおつしやられた通り一点鎖線と点線の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:16	サカイで、0点を結んだ線を、
0:56:21	作って、書いておられますのでその旨を記載するよういたします。
0:57:14	北海道電力の白川ですこちらの直線についてはタグチ意味がないということをご指摘いただきましたのでもう消去させていただきます。
0:57:24	はい。規制庁城ですわかりました。12ページの方これ構造が
0:57:30	大分変わるからもう、あんまりいいことないですけどちょっと、今後資料を作るときに注意していただきたいと思ってるのが、この水みちのイメージっていう何か、水色のラインが、
0:57:41	多分、左このですね左上のようなこの凡例で、あと図の中に書いてある、誰の方も水が通る道を示してるんだと思うんですね。で、
0:57:50	多分その凡例であることがまずわかりにくい。
0:57:53	と、あと、この水みちになっている例えば、セメント改良を取って右下のところに、下から取ってくる、これ何の水みちなのかさっぱりちょっと説明がなくてわからず、多分更新統。
0:58:06	ですかね、セメント改良でね浸透してくる、水のことを言ってるのかな。
0:58:12	要はこの水みちに関するちょっと日本語の文章なんか簡単に、何かどっか、
0:58:17	わかるようにして欲しいんですね。これ今後、対策後のやつでももしかしたら同様のものが出てきたら、それは、わかりやすさの観点でやっていただきたいです。
0:58:27	いかがですかね。
0:58:32	北海道電力の千葉です。コメントの趣旨承知いたしました。おっしゃるようにこのセメント改良銅の部分についてはセメント改良銅を海側からへと浸透してくる水みちになってまして、それ以外の水みちもありますので、どんな泉なのかわかるような、
0:59:09	北海道電力のまつもとです今新統という言葉を使いましたけども正しくはセメント改良度が、破壊した時等にここにひび割れが生じて水みちができるということを示したかったもので、
0:59:24	泉一井のこの書いた理由についてを、こちらにちゃんと明記してどういう考えでここが水みちになるのかというところを図に、追記して、この水みちの考え方がわかるようにしたいと思います。
0:59:41	北海道、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:59:52	電力の松本です。今ご指摘いただいたセメント改良と水みちは今回の回答に関係のないところですのでどこまで該当するかというところも含めてちょっと整理をしたいと思います。
1:00:22	北海道電力の松本です。承知しました。
1:00:25	資料の説明の仕方についてと検討させていただきます。
1:00:33	90 フジイはですね 4 ページ指摘事項があって、
1:00:38	これがそもそも構造ががらっと変わるから、全部が全部、
1:00:43	やるのかどうかですけど
1:00:45	きこえセメント改良度による話二つ目の矢羽根かな、破壊モードを踏まえた止水目地及び、
1:00:53	セメント改良度に要求される止水機能となってるから、そういうのも含めて、
1:00:59	対策後の話どうなるのかという、改めてちょっと考えていただくようお願いします。
1:01:13	規制庁の植田ですけど、ちょっと今の 12 ページのところでは左側どんどん変わっちゃうんだと思うんですけど、
1:01:20	ちょっと確認だけなんですけど右の表のアンカーボルト B D、
1:01:25	一番右設計で用いる許容限界のときに、S N 試験に基づいて決定した許容引張と許容せん断って書いてありますよね。
1:01:34	これって正確に言うと、
1:01:37	性能試験により確認された。
1:01:41	5 推進に基づいてんじゃないんですか。
1:01:45	性能試験によって、基づき保守性が確認されたんで、
1:01:52	各種合成指針に基づいて算定した戸高カセ郷清氏による、許容限界を使ってるんじゃないかなと思うんですが、どうですか。
1:02:05	はい。北海道電力の田澤です。今のご指摘の通り試験結果で決めていくわけではないので、試験結果を豪雪心に適用できるかをまず確認して振鈴。
1:02:18	て準拠するという形なので、この表現をちょっと適正化させていただきたいと思います。これ、何ていうかな頭のところのフローチャートも車審査会合で説明されてるってことであれなんだけど、例えば 3 ページのね、
1:02:33	これもう、
1:02:34	今のストーリーでは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:37	何か右側のアンカーボルト性能試験ってのをやりましたと、破壊形式と耐力を確認しましたと。
1:02:44	その結果がセメント改良殿。
1:02:48	強度特性を考えても、合成指針でも大丈夫ですかってことを判断器動かないので確認してOKだから、
1:02:56	アンカーボルトのを許容限界を設定しましたって本当流れですよね。
1:03:01	それも含めて、ちょっと考えていただきます。はい。北海道電力のタテ田です。ちょっとこの表自体が前の会合資料から引っ張ってきてたやつは、
1:03:12	たところもございまして、今の試験なんか試験の結果を踏まえて、各種防災指針適用してという流れがわかるように、ちょっと
1:03:23	誤解がないように、適正化させていただきます。以上です。
1:03:32	次の簡単なほうから言います。4ページ、今後、
1:03:39	要はこの寸法を変えて欲しいなと思って止水目地設置概要図で、
1:03:45	ちょっとつぼがないでどのぐらいのイメージなのかちょっとわからなかったんですね。だから、この寸法を書いてくればこの試験体は、
1:03:54	こういう、
1:03:56	例えば8ページの試験体は寸法を合わせても大丈夫なんだと、いわゆるこれだけ5広く構成をとっても大丈夫なんだというのがわかんなかったんで、
1:04:07	それをわかるようにして欲しいなということを思いました。
1:04:13	あと、
1:04:14	実は、先ほどちょっと三浦の方にも確認したんですけど、
1:04:20	4ページに、
1:04:21	このアンカーボルトの試験をやるときにこのアンカーボルトは先にセメント改良度の中に埋め込んでる。
1:04:29	埋め込んで、そのあとに、
1:04:31	コンクリー出水コンクリートを目地を打つという工法でよろしいでしょうか。
1:04:40	はい。北海道電力の立田ですと一つ目の寸法の話はちょっと資料1-1の位置付けがちょっと微妙なところもございまして、ちょっと構造変わっての先頭入れるようにさせていただきたいと思えます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:54	概略書いてもらって、詳細は、
1:04:58	設工認によって変わる可能性があるぐらいで、それから幅で書いてもらっても構わないです。
1:05:05	はい。
1:05:06	そうです新しいやつ。はい、そうです。すいません。
1:05:14	はい。新構造、新口座対策後の構造でちょっと寸法、概略構造示せるようにします。
1:05:22	この先ほど作り方の方は、この今のこの4ページのものでいくと、
1:05:31	先にセメント改良度が打設してあってその時にアンカーが先に仕込んだんかBが仕込んであって、セメント改良Bを打設して、
1:05:42	この濃い止水目地コンクリートがこの箱抜き状態になってますんで、その時に、この方は9、上部の構成プレートをつけて横は型枠付けて、
1:05:54	コンクリートを打設するという流れでございます。
1:05:58	それで、
1:05:59	同じくですね資料1-2の、
1:06:02	対策後についても、施工手順を考えて試験をやるときには、
1:06:10	やって欲しいと思って、あとでアンカー一部って何かを削孔して、そのあとに高強度モルタルなんか入れちゃうと、
1:06:20	始発面積が変わってこうとかも結構あるんですよ。
1:06:24	だから施工も考えて、次試験やるときには気をつけて欲しいなと思っております。よろしくお願いします。
1:06:31	はい。江藤北海道電力の辰田です施工ウノ方法真崎付後付けの話かと思えますんで、
1:06:38	その辺も含めて施工、考慮した状態での試験になるように、整理をさせていただくことももちろんその方法で、
1:06:47	基本考えてございます。以上です。
1:07:06	長大橋です。
1:07:07	パワポの6ページと7ページ、他にもいろいろ出てくるんですけど、
1:07:13	アンカーの引っ張り試験のところ、
1:07:16	ちょっと降伏強度っていうものと、引っ張り強度っていう言葉の使い方がちょっと混在しているような、
1:07:24	点がちょっと気になりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:26	実は剛性構造指針もちょっと曖昧な書き方がしてあるんですが、
1:07:32	例えば6ページの黄色のところの四つ目の丸が、アンカーボルトが降伏する荷重は、
1:07:39	規格降伏点強度に基づき算出すると、83kNとなるが、
1:07:44	材料試験では約135kNであったって書いてあって、
1:07:49	7ページ目に行くと、最初の丸で、
1:07:52	引張試験最大荷重はアンカーボルトの材料試験の交付荷重約135kN以上になったっていう、
1:08:00	降伏荷重が、
1:08:02	企画が83に比べて135実験であるって書いてあるんですけども、
1:08:07	これ二つ目の丸で、
1:08:10	弾性範囲は100kNまで。
1:08:12	ていうぐらいに書いてあって、
1:08:14	普通
1:08:18	幸福っていうのは弾性範囲まで、
1:08:22	協会のことを、
1:08:23	一般的には言うんで、
1:08:25	コース総数と135kNオク副荷重と記載するのは、
1:08:31	ちょっと合わないなっていう感じがします。
1:08:35	ちょっとアンカーボルトの、
1:08:39	いろいろ施工手引きだとか試験方法の標準カーとかに、どう書いてるかはちょっと確認できてないんですけども、
1:08:46	阿保狩野、四条と審査では、降伏点等、やっぱり、
1:08:52	終局っぽいところですけど、それを明確に分けてるんで、
1:08:57	ここでアンカーでこういう使い方をしているのが一般的だと言われても、
1:09:02	他の
1:09:04	評価では、幸福と引張と分けてるんで、そこはちょっと見直して欲しいなと思います。
1:09:14	はい。北海道電力の辰田です。どうぞ使い分けちょっと指針に倣って書いてたつもりでいてちょっと整合、
1:09:23	捨てない部分と、あと四条側での使い方に合わせていきたいと思いますので、それと使い方ちょっと135kNという数字も、
1:09:34	ちょっともう1回確認させていただきたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:38	お願いします以上です。
1:09:51	はい。
1:09:52	規制庁藤原です。資料1-1に関して、今現時点であらかじめ事業者 者に申し伝えたいこととかが、とあるですがウェブで参加の方も 含めて、いかがでしょうか。
1:10:04	ちょっと言っていていいですか。
1:10:06	規制庁の皆さんこれちょっと、
1:10:08	確認だけなんですけど例えば7ページ見るとね。
1:10:12	右側に引張試験の結果あるじゃないですか。
1:10:17	引張試験で、
1:10:19	例えば引張1-5とか剛性高いのにオカを落ちてますよね。
1:10:25	この理由って何か。
1:10:27	おわかりになられてます。
1:10:29	何か考察されてます。
1:10:33	わかりますよね。1-5かな。やっぱり1-5はちょっと高いですよ ね構成が他みんな低いのに、
1:10:41	なぜかなあというふうに思ったんですけど。
1:10:45	何かその理由ってわかります。
1:10:47	例えば14ページのね、これ引張試験も剛性はある程度見込める高 いものと、
1:10:56	低いもの、二つに分かれるんですよこれね。
1:11:04	全然、もう実験、
1:11:07	測定誤差、
1:11:10	ぐらいですかね。
1:11:36	特に体力が出てるんで、気にはしていないんだけど、
1:11:42	何でこういうアンカーボルト系の試験と意外とこういう母数のば らつきってのは出てくるもんなんだけど、
1:11:47	少し最初滑っちゃったりとかね、そういう話もあって、わかる範 囲で、もしも、
1:11:53	実験をやられたところ、
1:11:55	ところから少し話を聞いておいていただくというか、
1:11:58	北海道電力の田澤です。
1:12:01	それと違い、今、ちょっと考察してきてないところもございます ので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:09	何かわかる事項がございましたら記載するように、せん断の方も含めてですね、14 ページでしたか、14 ページも含めてちょっと何ケース。
1:12:21	か近いがちょっと出てるので、その違いについて何か。
1:12:26	記載できるようなことがあれば、整理させていただこうと思います。以上です。
1:12:35	はい。衛藤規制庁フジワラですその他及び参加の方を含めて1の資料1-1からについて確認したことがございますでしょうか。
1:12:49	よろしいですかね。はい。そしたら資料1-1についてはまた後再度構成を見直した上でまた改めて説明をしていただけるようお願いいたします今後ですね。
1:13:00	資料1-2の方に次移りたいと思ひまして資料1-2の9ページ10ページは、説明はいただいたところなんですけども、それ以外のところですかね、について説明はまだしていないと思ひますので、これについて説明を事業者の方からしてください。
1:13:19	北海道電力の松元です。資料1-2をご説明させていただきます。
1:13:25	3ページをお願いいたします。こちらの資料では、矢羽根の三つをご説明させていただきますがまず一つ目が、構造成立性評価の基本方針のフジイ解析条件の変更について至近の基準津波の審査状況より新たな防潮て高さを設定することから、
1:13:44	基準津波高さ変更に伴う変更点をご説明いたします。二つ目に防潮低高さの変更に伴う構造成立性評価への影響、供用限界を満足できれば、ない場合の裕度向上対策をご説明いたします。
1:13:57	三つ目に構造成立性評価断面の変更についてということで、評価条件を保守的に設定することにより、前回審査会合で選定した2断面を1断面に変更して構造成立性評価を、
1:14:08	実施していくことをご説明いたします。4ページをお願いいたします。
1:14:15	4ページでは前回審査会合でもお示した、今後の説明スケジュールですけども、そこからの更新箇所を青字で記載をしております。
1:14:26	1月の審査会合衛藤。
1:14:30	次の審査会合シリーズでの審査会合で、包丁での設計に用いる液状化パラメータ地震動津波波力及び漂流物荷重と、あと、評価結

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	果をお示しする予定ということで説明スケジュールのところに、2024年1月下旬というふうに記載をしております。
1:14:48	続いて5ページをお願いいたします。
1:14:53	5ページは丸の一つ目ですけども、基準津波の審査において地震に伴う津波、日本海島縁部と地震以外の要因に伴う津波、陸上地すべり、
1:15:04	の組み合わせ評価の結果、敷地前面の水位変動量は、基準津波確定前ではありますが、最大15.68メートルとなっております。これを踏まえ対津波設計として考慮すべき潮位等も含めて、
1:15:18	評価した入力津波高さ算定値に対して、タカハシによるによる潮位変動も考慮した結果、
1:15:24	防潮て高さを16.5メートルとしておりましたが、19メートルに変更いたします。
1:15:31	基準津波に対する誘導はこちらの下の表に記載をしておりますが、変更後というところで、基準津波最大水位上昇量、15.68メートルを想定して、防潮低高さ19メートルにすると。
1:15:44	基準津波に対する裕度はここでは約3.3メートルと整理をしております。
1:15:50	続いて、6ページをお願いいたします。
1:15:55	こちらでは、入力津波高さと防潮低高さの関係設計の裕度のお示ししておりますが、冒頭でもご説明させていただいた通り、概念図において、4、④の地殻変動量を記載しておりますが、
1:16:10	この図に記載するのは、適切ではないため次回資料で適正化させていただきます。
1:16:16	地殻変動量についても先行プラントと同様に考慮することを考えておりますのでそちらは入力津波の設定においてご説明させていただきます。
1:16:26	続いて7ページをお願いいたします。
1:16:29	7ページにおきましては膨張ての高さ、
1:16:33	の変更に伴ってどのように高さを上げるかといったところを説明した図になりますが、左側が16、前回審査会合までを推進していた16.5メートルの時の防潮ての形状になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:47	それに対して右側が高さ 19 メーターのものになっておりますが、天端高さを単純に 2.5 メーター上げるといったところを考えております。
1:16:59	こちら注釈のところですけども、これまでセメント改良度の下の、今回、床井。
1:17:08	灰色のところ、今現在の資料では下部コンクリートと記載しておりますが、前回の資料までは、置換コンクリートと記載をしておりました。
1:17:18	今回からその名称株コンクリートに変更したいと考えております。
1:17:23	なお、これまで説明してきた役割や許容限界に変更はありません。
1:17:30	続いて 8 ページをお願いいたします。
1:17:36	傍聴低高さの変更に伴い、構造成立性評価に用いる解析条件のうち、変更内容についてご説明させていただきます。まず一つ目が、津波荷重を算出する際の津波高さは、
1:17:49	入力津波が確定前であることから、設置変更許可段階の条件として保守的に防潮て天端高さとしており、防潮低高さの変更に伴い、19 メーターを入力津波高さといいたします。
1:18:03	二つ目が漂流物荷重の作用位置ですがこちらも入力津波が確定前であることから、設置変更許可段階の条件として保守的に防潮定点間瀬。
1:18:13	現場に作用させる方針としておりまして、防潮底の高さ変更に伴い、作用位置を 19 メーターといいたします。
1:18:22	三つ目が、止水目地の設置高さですが、上端の高さ 16.5 メーターが 19 メーターに変わりましたので、止水目地の設置高さも、上端を 19 メーターといいたします。
1:18:35	続いて 9 ページをお願いいたします。
1:18:40	こちらについては許容限界をハウジョウて高さの変更により影響があると考えられる項目と、許容限界を満足できない場合の対策を、数で整理しております。
1:18:52	項目としては、四つありまして、内的安定性なんか V A B のせん断力、水道ダムの間接支持機能、あと基礎地盤の滑り安定性となっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:19:04	内的安定性につきましては、対策後といったところで、仕様変更セメント改良ドカーブコンクリート高強度部の強度の変更、もしくは、
1:19:14	下部コンクリートの高さを変えてあるといったところの対策を考えております。これらは構造成立性評価結果を踏まえて、検討したいというところです。
1:19:24	アンカーボルトABのせん断力につきましては、先ほど説明したので割愛させていただきます。
1:19:30	水路横断部の間接支持機能につきましては、対策後としましては、仕様変更、セメント改良堂及び下部コンクリートの強度の変更、または形状の変更①②とありますが、
1:19:43	①は、下部コンクリートを水路の天端まで上げてやるというもの、②が、コンクリートを膨張して天端まで上げると、もうコンクリートで膨張堤体を作るといった変更となります。
1:19:56	こちら水路横断部の構造成立性を見て、対策を決めていくといったところになります。
1:20:02	最後に基礎地盤の滑り安定性ですけども、こちらは、対策後としましては、堤体幅を広げる、もしくは、下部コンクリートの底面の形状を平らにする等の変更といったところを対策として考えております。
1:20:17	こちら滑り安定性を見て対策が必要な場合には対応していきたいといったところです。
1:20:25	続いて10ページは飛ばしまして11ページをお願いいたします。
1:20:31	11ページにつきましては、構造成立性評価断面の変更というところをご説明させていただきます。
1:20:38	下の左側の選定フローのところですけども、青枠のところは前回審査会合で、2断面選定するといったところの流れを説明させていただきました。
1:20:49	今回は、赤枠のところを今回追加としておりまして、構造成立性評価断面の変更、括弧、評価条件を保守的に設定することにより、2断面を1断面に変更するといったところを記載しております。
1:21:05	変更する際の観点としましては、右側に吹き出しで書いておりますが、ポツ四つありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:12	包丁で前面に作用する津波波力、背面に作用する動圧と膨張ての高さ、高さというのは岩盤から天端までの高さを示しております。
1:21:25	あと岩盤掘削があるかないかといったところで、詳しくは次のページでご説明させていただきます。12 ページをお願いいたします。
1:21:35	丸の一つ目で、前回審査会合で選定した2-2断面ロクロク断面の選定理由を記載しております。
1:21:43	丸の二つ目でこれらを1断面に変更する際の観点について示しておりますが、左下の表でご説明させていただきますと、
1:21:54	津波波力動圧、防潮低高さ岩盤掘削の有無といったところを2-2断面と66断面で示しております。
1:22:03	表のうち数値、あとは、ありなしを赤破線で囲っておりますが、赤破線で囲ってある方が、厳しい条件になると考えているところです。
1:22:13	これらを整理した結果、津波波力が2-2断面の方が大きいといったところ、炉圧につきましては、ロクロク断面の方が大きいと。
1:22:23	整備になります。なっております。
1:22:26	膨張て高さにつきましては、岩盤が深い2の2段目の方が高いという整理になります。あと岩盤掘削の有無につきましては、2-2断面につきましては滑り安定性を確保するために岩盤掘削を行う予定であることから、
1:22:41	布田面もあり、ロクロク断面につきましては岩盤掘削を行わなくても、滑り安定性を確保できる見込みであることから、なしというふうにしております。
1:22:51	これらを整理した結果、2-2断面で評価を行っていきたいと考えておりますが、炉圧につきましては、ロクロク断面の方が大きい値となっておりますので、
1:23:04	上の黄色枠の丸の最後になりますけども、構造成立性評価は、2-2断面で行う、指導圧については、ロクロク断面の動圧を、2-2断面に作用させて、評価条件を保守的に設定して、
1:23:20	評価していきたいというふうに考えております。
1:23:22	これによって2-2断面で保守的に評価をすることができるというふうに考えております。
1:23:30	以上が資料1-2の説明内容。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:36	はい。規制庁藤山です。そしたら質疑に入りたいと思ひまして、
1:23:40	今回のこの資料 1-2 っていうのは、
1:23:47	趣旨としてはいろいろ高さを変えますよう当評価の断面をちょっと
1:23:53	要は絞りを絞るといふか多分集約させるようなイメージかなと思ひつたんですねちょっとまだ、後の
1:24:00	当初なんか 2 段目から 1 段目にするということなんですけども 11 ページかな。
1:24:05	を見ていただいたときにですね
1:24:09	なんのかな、11 ページの二つ目の丸の後ろの方から、2 断面を 1 断面に変更、日本語ですけど変更するっていうと、何かこうなつてすかね。
1:24:21	何か本来やるべきやつを、何か、
1:24:25	本来やるべきだと 2 断面を 1 個にしちゃいましたっていうふうに見えたんですね。でも実際はやってること違うんですよ。要は、荷重を保守的に何か設定することで、
1:24:35	今集約させた設計をしてるっていうふうには私はこの資料 4 で、
1:24:40	理解してます。従ひまして、この変更するだというよりもどちらかというとなんか、
1:24:45	条件なんかも保守的に設定集約したと、それが何かいいのがちょっとこの資料全体から読み取れなかつたのもうちょっとそこはきちつとか書かないと、趣旨が伝わらないと思ひますが、いかがですかね。
1:25:01	移動電力の松本です。収支としましては今藤原さんにおつしやつていただいた通りの趣旨ですので、言葉遣い等を改めて検討して資料を修正させていただきたいと思ひます。
1:25:12	はい。規制庁氏原です。もう一つ膨張高さがちょっと解析条件が変わりますって話が 6 ページかな。
1:25:21	で多分言つてるのかなあとちょっと思ひてんですけど、多分それが、何だろ。
1:25:28	あんまり何か明確になつてるんかなあ、5 ページで一応、
1:25:34	変更すると言つた上で、次のページに、
1:25:38	関係。
1:25:40	概念図を示して、6 ページにいつてるんかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:44	うん。で、さっき言ったその要は高さを変えていることとこの6ページの関係がちょっとページをめくらないとちょっと見にくいので、ちゃんと6ページの中で完結
1:25:54	して欲しいんですね、ちゃんと包丁で高瀬が何か要は従前こういったの、こういうふうに解析条件を変えますよ。ただそれは当然入力津波高さまだ決まってないけども、こういう考えで今現在設定してます。
1:26:07	というのがちょっとごめんなさい、この資料から見えません。
1:26:10	まず、まずそこですけど、いかがですかね。
1:26:30	北海道電力の松本です。今、コメントいただいたのは5ページ6ページの流れを汲んで、冒頭で高さがこういうふうに7ページのように変わりましたという流れがわかるように、資料構成を見直したいと思います。そういう理解でよろしいでしょうか。はい。そうですその通りですね。何でこんなこと言うか。
1:26:50	6ページを見た時にですね大分これ、正直な何をやってるかちょっとすごく、
1:26:55	わかりにくいんですね実際我々の中で先行の審査とかやってるものからすると、津波高さっていうのは融度を、安保細胞集団膨張点とかってのは融度。
1:27:06	考慮して決めるもんだって当然わかるんですけど、
1:27:09	その裕度の決め方の際の、
1:27:12	何だろうな6ページの概念図かな、これ、さっきちょっと地殻変動について何かお話がちょっと私、理解ができなかったんで、
1:27:21	それもちょっと含めてちょっとこの6ページと細かく、
1:27:24	細かくというか
1:27:26	何だろうな概念図の一番下に、
1:27:30	基準津波に水位上昇量というのがまずあるじゃないすかここで、
1:27:34	言いたいのが例えば入力津波だとその地形変化を考慮したベースの値が、本当は何か入ってきそうな気もしないでもないけどただ先行の、
1:27:44	まああの、記載振りもちょっとあるから多分こういう記載になってるんだろうなとちょっと思いつつ、
1:27:48	ただそうは言ってもですね実際は、入力津波のパラスタ、地形変化をやった上でまず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:54	そもそものスタート地点が決まってそれに、
1:27:57	こういった朔望平均満潮位だとか、潮位のばらつきだとか、潮位差とか、
1:28:02	地殻変動の中に入れてたのかそのとき、それがちょっと今何かなぜ入れないのかがちょっとよくわかんないですけど要は、
1:28:08	そういう膨張で高さを決める際の中のベース、概念図の一番とりあえず右下ですかね、ここは何かちょっと、何だっけな。
1:28:17	括弧書きでもいいんで地形変化の影響考慮とか、
1:28:22	いうのを何か変えた方が何かよりわかりやすいのかな。入力値センスのものじゃないからですね、入力津波っちゅうのは当然、何だろう。
1:28:29	もっと上の方で決まるもんだから、
1:28:32	まず基準津波があってそれに地形変化の影響がオンされると。
1:28:37	それがちょっとわかるようにされたらどうですかね。まずそこから、
1:28:59	北海道電力の
1:29:01	上原です。今淡路ハラさんからご指摘ありました通りまず右下の概念図の部分については
1:29:09	修正させていただきたいと思います。基準津波による水位上昇量で記載しているところについては、
1:29:15	地形変化考慮したもので、
1:29:19	評価はしていく必要があると思っておりますので、そのあたり、あと、地殻変動量についても、あわせてですね、高さを決めるにあたっての考え方っていうのを修正して、
1:29:31	記載したいと思います。以上です。
1:29:36	ごめん。規制庁藤間です。最初の方の話はわかりましたで、
1:29:41	地殻変動、皆さん何かこれすると、一番冒頭だったらこれけ消しますって話があって今上原さんのところ、
1:29:51	考慮しますって言って、
1:30:14	ごめんなさい規制庁して、これが何か先行では、ここに入っている。
1:30:18	丹。
1:30:19	ですかね。
1:30:21	入っていないくて、
1:30:23	てことですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:24	イマイ。
1:30:28	北海道電力の植原です。先行プラントの例としてはこの潮位の比較のところはあくまで潮位の比ということで、地殻変動量については、図、図には入っていない状況でして、その後段の中で、
1:30:42	地殻変動量の考慮といったところを整理していると理解しております、当社も
1:30:49	考え方としては、
1:30:52	先行と同等の同じような考え方で設定することになると思います。
1:30:57	はい、規制庁フジワラですわかりましたおそらく、ここですね要は、高潮ハザードの再現100年が1.03であってそれから、要は融度
1:31:07	設計の裕度ってのは今何か何だっけな、概念図の右の設計値のところ、設計の裕度この鍵括弧で、
1:31:15	括弧で書いてるけどそれが要は地殻変動を除いたらその裕度がばっと増えると、ただそれだけの話を言いたい。
1:31:22	ということですか。
1:33:24	はい規制庁藤原です。何かちょっと何か言うと
1:33:27	多分入力値の設定そのものに関係ないかん。
1:33:31	検討すべき地殻変動とあと防潮堤外誘導かな、に決めるときに考慮すべき地殻変動というのは何かちょっと違いが、ちょっと今は整理がよくわからない。そこでちょっと、
1:33:42	これはこの資料にやるのか別の資料にちょっとするのかちょっとあれですけど、そこはちゃんと整理をいただくようお願いします。はい。
1:33:49	私の方は
1:33:53	企業お願いします。
1:34:00	規制庁の三浦ですけど。
1:34:03	これ一つよくわからなかったのが12ページなんですけど。
1:34:10	これ
1:34:12	2段目以降選べますよって言って、A66段目の方が、
1:34:18	動圧が大きいから、条件としてどうぞこっち選べますよっていう。
1:34:22	保守的っていうお話あったんですけど、
1:34:25	この6月で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:28	津波波力内結社を方向に働きません。
1:34:32	これを考慮することが保守的になります。
1:34:42	北海道電力の松本です。主に地震時の背面からかかる動圧に着目して、こちらの動圧を整理しております、
1:34:53	背面からですので、海側に押される方向として大きいほうが保守的だという考えでこのように整理しております。
1:35:03	一緒にないですというふうに思ったんですけど、
1:35:07	これちゃんともうちょっときちんと書いておかないと、あくまでもあれですよ、地震時を対象にしたときはイベントは早期を考慮するんだけど、津波にこっちを組み合わせちゃうと、これ危険がなっちゃいますよね。
1:35:19	だからその辺も解析上どういうふうに扱うのかってこともきちっと説明されたらいいと思うんですよ。
1:35:25	北海道電力の松本です。津波時、重畳時につきましては確かに津波波力打ち消す側になる可能性もありますので、そこら辺も考え方を資料化させていただきます。
1:35:40	これだけ見ちゃうとね、必ずしも講習があつて言えないよねっていうふうになってしまうので、お願いします。はい。
1:35:50	じゃあ、規制庁の中尾さんです。
1:35:52	8ページを見ると、
1:35:58	全部、いわゆる変更後って書いてある方でも変更前でもう天端分は、
1:36:05	この止水目地がないんですけど、こっっていうのは、
1:36:08	何もしないんですか。
1:36:10	空間が、この目地の間って、数センチ開いてると思うんですけど、それは何もしないで空いたままっていうことなんですよ。
1:36:27	当北海道電力の松元ですこちら、包丁定款のすみません天端につきましては止水目地を設置するつもりはございませんで、
1:36:37	あくまで宇井から津波等が来た津波が来たときに、伴列りとして止めればいいのかという、考えているところには、ところは、図の8ページでいきますとこの止水イメージと書いてあるところで、
1:36:51	浸水を止められればいいのかと考えておりますので、上から上に止水目地を設置するといったところは考えておりません。
1:37:01	じゃあ、この隣のブロック間って何センチぐらい空いてるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:06	いわゆるビジネスイメージのジョイントありますよね。それし、5センチとか3センチとか開いてると思うんですけど、この部分がずっとデンバーきつ放しということですね、ブロック間。
1:37:18	北海道電力の辰田ですちょっと上から見た図というか、がないのであれなんですけど、
1:37:24	セメント、コンクリートじゃないな、総調定と防除で何個隙間については普通のコンクリートで使うような明示材エラストイトみたいなやつは、
1:37:35	入ってますので、隙間はちょっと空いてるわけではなくてですね。
1:37:39	そういう詰め物というか、要は入ったのが現場にはある状況にはなります。
1:37:46	こっちは薄いとか、それはちゃんと処理。
1:37:50	目地材みたい、いわゆるエラストイト見たやつで処理できる。
1:37:55	それは雨水が入ったときにこの雨水が、
1:37:58	流れる道があるのかなと思ったんですこの防潮てに。
1:38:05	北海道電力の辰田ですちょっとその辺までの雨水のことまでちょっと今考慮できてないところもございますのでちょっと表面をどうする。
1:38:15	天端の表面をどう仕上げるかっていうところも、
1:38:18	ちょっとまだ検討がおよんでませんけどもちょっとその辺は、
1:38:22	何か何かしら考慮が必要かなと思いましたがけどもちょっと施工上の工夫工夫というか、めり機能としては、CSイメージとあと普通の乗員津波接続部ということで、使い分けはしていこうと思ってます。
1:38:38	規制庁の土岐ですけども、高浜でも、当時でもこうやっても問題には、一応課題には挙がってるんだけど、
1:38:44	取水後が海側に、
1:38:48	それで水が入ってきて基本的にはドライサイトはあまり関係ないんだけど水が基本的に雨水でたまってしまって、それが内側敷地側に入ってくる。
1:38:57	来るから問題だったような記憶あるんだけど、その量からして特に、
1:39:03	漏水程度の問題だからあまり問題はしてないんだけどそこは一応詰めなん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:39:07	いわゆる、
1:39:08	そういうことがないように、一応、薄い入らないようにはしてもらったって記憶があって、今後、ここでは、
1:39:16	逆に言うと内側に、止水ゴムがあるから、
1:39:20	包丁ての中にあつたとしても、
1:39:22	基本的には敷地に入ってこないんですよ。
1:39:26	どこで、止水ゴムが切れるんですかっていうことは問題があるかもしれないんだけど、それがいわゆる水みちになってしまって、
1:39:35	土の中で、
1:39:37	水みちを形成しないか。
1:39:40	ちょっと、ただその部分だと思うんですよ。
1:39:44	その辺はちょっと何が問題でそこに水水がたまると。
1:39:49	どういった問題が起きて
1:39:53	津波防護機能の機能を損なうことになるのかを一応頭が中整理した上で、
1:39:59	回答していただいた方がいいんじゃないかと思います。
1:40:02	はい北海道電力の辰田です。李了解シバ社長が理解しました。ちょっとこの構造細目というかですね明治、この天端からの水が、
1:40:13	入った時の、ちょっと検討というかちょっと他サイトのやつもちょっと、県、参考にさせていただいて、
1:40:21	この辺も含めてちょっと、
1:40:25	トーク施工。
1:40:27	施工上の話として検討するのか。はい。はい。
1:40:45	はい、すいません。はい。
1:40:55	すいません北海道電力の田澤ですちょっとその辺も、
1:40:59	現場の部分についても
1:41:02	制度を整理をさせていただこうと思います。
1:41:11	規制庁の若狭です。今言ったそもそも問題があるかどうかとか、スズキ機能に影響するかとか、雨水のたまり水になるかって、まず、
1:41:22	先行も踏まえて、北電としてどうしたいのかっていうのを考えて、
1:41:28	水が戻し度に流れるからいいんだっていう思想もあるかもしれないんですけど、そこら辺をちゃんと踏まえた上で回答の方をお願いしたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:38	はい。北海道電力の辰田ですちょっと天端に対する、薄井に対する影響ということで、1回整理をさせていただいて、記載する内容を検討したいと思います。以上です。
1:41:51	規制庁永長です。
1:41:53	続きまして10ページなんですけどこれ、今の設計の話で、まだ行かないんですけど、ゴムジョイントを使いますよね。
1:42:05	我々センコーサイドの時にホーム上にとって初めての時よく勉強したんですけど、そのゴムジョイント自体は、
1:42:13	赤外線やですね凍結融解に弱いと。
1:42:17	端がイセね凍結床に弱いと。だからそれは、無線先行サイトは維持管理とか、いわゆる、
1:42:28	試験材を持ってきて、それで管理しますという話なのか、設計上ですね上にシートをまぶして、その紫外線を守りますとかいろんな方法あるんですけど、
1:42:40	北海道電力さんとしては維持管理をするのか、何とかって基本的な方針と、もし維持管理するんだったら維持管理に引き継げるような、
1:42:50	メモを残して欲しいと思うんですけどそこら辺の考えはどうなんでしょうか。また、他のプレートとかですね、ナットとか、
1:43:00	当然、塩水故弱いつてか、
1:43:04	弱いと思いますので、当然な波自体が直接かかるのでしょうか前ありますので、そういうのを踏まえてちゃんと対応塩害用のやつを使うとか、
1:43:17	設計がある程度決まったときにそこら辺の材質も考えて、使用基本的な使用、
1:43:24	についてもちゃんと考えて欲しいと思ってるんですがいかがでしょうか。
1:43:31	北海道電力タテさです。
1:43:34	以前というと、他の構造物でゴムジョイント考えたときにも、都市圏編で管理していこうかあと保護材で、
1:43:46	管理していこうかというところがありまして、まだ貴重さ決まてません。
1:43:52	その辺をちょっと整理した上で、ほざいするにしてもこのジョイントか機能するのかというところも含めてですね、保護していく

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	のか、主計ん管理していくのかまた両方なのかというところも含めてですね、
1:44:09	ちょっと、
1:44:10	そして詳細設計の中で、
1:44:12	工認段階で整理をさせていただこうかなと思います。以上です。工認段階でやる時にちゃんと引き継ぎメモを作っておいてください。よろしくお願いします。
1:44:32	北海道電力の田窪です。
1:44:36	今の検討状況の方針を示させていただいて、その決定については工認で説明させていただいて、
1:44:44	どういう保守にどういうふう引き継いでいくかというところも含めて記載をさせていただくことをちょっと年度アノ念頭ににして、
1:44:54	留めておきたいと思います以上です。
1:45:04	はい。
1:45:10	はい。
1:45:23	はい北海道電力の辰田です今の言葉に加えて先行サイトとの比較も含めて、整理をさせていただきます。
1:45:36	対応の問題お願いします。規制庁中橋です。12 ページ。
1:45:43	確認なんですけど、
1:45:47	ところ、
1:45:48	これって基本方針はセメント改良度の形状が変わりませんと、いわゆる高さとか、ハバノ形状変わらなくて、変わるの下部コンクリートだけだと。
1:46:00	特にいちいち断面から7段目も同じだという解釈でよろしいでしょうか。
1:46:13	北海道電力の松本です。基本的な形状は下部コンクリートの上にこのようなセメント改良どの、傾斜したものが乗っかるという構造は、
1:46:23	同じなんですけども、場所によって大分岩盤が浅いところ等につきましては、30 メーター幅といったところが狭くなるといったところを考慮しております。
1:46:35	これは断面的にどこら辺なんでしょうか 11 ページの断面で変わりそうな場所って教えてもらえますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:47	今岩盤が浅いと確認できているところにつきましては11ページの段、平面図でいきますと、いちいち断面の辺り、あと、7断面の辺り、こちらが
1:47:01	岩盤が浅いところでして、幅が30メートルより狭くなるかなと、あと、平面図中の3、
1:47:10	番4番。
1:47:12	あと5番等につきましては、30メートルよりも、幅が狭くなる可能性があるといったところです。わかりました。はい。
1:47:22	あと1点ですね。
1:47:24	12ページで、
1:47:27	2断面と66断面で、これ、ドアツ-は違うんですけど、これ、ドアツ-の違いっていうのは、
1:47:33	この66断面のモリ度とか、
1:47:36	もしかして地下水が違うとかそういう理由なんでしょうか。
1:47:43	北海道電力の松本です。
1:47:45	11ページの断面位置図を見ていただきたいのですが、66断面のところの敷地側につきましては、上に上っていくモリと道路が、背面にございます。
1:48:00	ですのでこの背面モリ殿、同圧を背負ったがゆえに66断面の動圧が大きくなっているという状況です。
1:48:10	モリ等の影響だと思えば言ってよろしいですね。
1:48:13	私からは以上です。
1:48:21	規制庁フジイマセ1点ちょっとごめんなさい聞き忘れたことがあってですね、9ページちょっと開いていただきたいんですけども、
1:48:29	9ページの、
1:48:32	数、冒頭で何かボール等、
1:48:35	不安止水目地コンクリ-とか、変えますって話。これは要は、
1:48:40	要はもう対策ごとはもうかこれ、対策後にするっていう話だったと思うんですね。
1:48:45	それ以外のところでちょっとお伺いしたいのが、例えば水道ダムの間接支持機能とかがあってこれはあれですかね、まだこれはまだ決まってないんですかねそれはもうこれ対策後に決まってる要は、今四つ並んでるうちのどれがもう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:59	対策5で確定しててどれがまだ確定しないのかっていうのがちょっとわからなかったんでそこでどうなんですか。
1:49:10	北海道電力の立田です9ページの表、四つに分かれてますけどもアンカーボルトの
1:49:18	対策後だけが今決まっている状態です。
1:49:26	規制庁藤原ですわかりました。違う、海ですよ
1:49:32	藤さん城野君、滑り安定性での多分許可段階で、確定するとしてその他のところは、
1:49:41	許可段階で決まるところって何かあるんですけど。
1:49:45	内的安定とか、間接支持機能かな。
1:49:57	北海道電力の松元です。設置許可段階で決まる内容としましては左端の内的安定性が45条の観点で決まるといったところと、あと三条の評価の方で、
1:50:10	右端の基礎地盤の滑り安定性で形状、
1:50:14	脇丸といったところですよ。
1:50:17	はい。規制庁藤原です。わかりました。ちょっとその辺が、要は、確定してるものと、許可で、の最終的な段階で確定するものとあと設工認で確定するもの、三つ。
1:50:29	あろうかと思いきそこはちょっと今わかりにくいんですが、こちらを仕分けをいただきたいと思いますがいいですか。
1:50:35	北海道電力の松本です承知しました。
1:50:38	はい。規制庁千田ですけど、ちなみにですよ。
1:50:41	内的安定の左端と右端の、外的安定といわゆる滑り安定かな。0どっちが先に決まって、違う。
1:50:51	こっちに来るとかって何かあるんですけど。
1:50:55	ちょっと
1:50:56	もし、すぐ説明できるから説明してください。
1:51:30	と北海道電力の松本です。実際の作業としましては45条の確認と三条の確認を並行して進めているというところです。
1:51:41	はい。規制庁藤原ですわかりました。
1:51:45	そしたらほか、資料1-2に関してまず、こっちの会議室側で確認。
1:51:52	を挟んだ形状オオハシです。
1:51:55	3ページ。
1:51:56	3ページの二つ目の矢羽根。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:00	言葉の話ですけど、
1:52:03	二つ目の矢羽根に、許容限界を満足できない場合の、
1:52:07	裕度向上対策を説明する。
1:52:10	これ
1:52:12	教育委員会ここで
1:52:14	アウトなってるんで、
1:52:33	失礼しました。
1:52:35	3 ページ目の二つ目の矢羽根で、
1:52:38	許容限界を満足できない場合の誘導向上対策を説明するっていう書き方になってまして。
1:52:45	ここで協議会アウトなってるんで、誘導工場も、
1:52:50	ていう言い方が非常に、
1:52:53	違和感があるんで、ここはちょっと書き方に直して欲しいなと思います。
1:52:59	はい。
1:53:00	北海道電力の松本です。承知しました。
1:53:04	規制庁大橋です。
1:53:06	7 ページなんですけども、
1:53:09	7 ページに、
1:53:12	包丁ての天端を、
1:53:13	A T P 16.5 メーターから T P。
1:53:17	19.0 メーターまで、
1:53:20	2.5 メーター高くした絵が並んでるんですけども、
1:53:24	ここで公共 R O V っていう範囲が、
1:53:28	そのまんま上の方に、
1:53:31	平行移動したような絵があるんですが、
1:53:36	今回、
1:53:37	天端が上がったことによって、共同部の下の方がかなりがら空きになってきて、そこ 2、
1:53:45	T P 13 から 14 メーターぐらいの津波が来た場合はそこに、
1:53:50	津波荷重が各当たるという可能性が出てきたかなと思うんですけども、この高強度部の範囲については、これで決まりということでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:02	北海道電力の松本です。まだ調査結果をお示しできてませんので高強度部がこの範囲の決まりといったところ申し上げられませんが、高強度部の範囲につきましては、
1:54:14	今示している高強度部の下に漂流物が当たったとしても、問題ないところまでを高強度部と、主考えておる公共道具にしようと考えておりますので、
1:54:26	その確認結果については設置許可段階でご説明させていただきたいと考えております。
1:54:33	規制庁大橋です。
1:54:35	そのような、
1:54:37	検討しているということで、承知しました。以上です。
1:54:44	はい。そしたら、この資料1-2に関してウェブで3課の方からいかがでしょうか。
1:54:52	規制庁の石田ですけれども。
1:54:56	江藤。
1:54:57	資料の5ページ、確認をいたします。
1:55:02	資料の5ページの一番とですね。
1:55:06	はい。
1:55:08	変更後のですね、基準津波の最大水位上昇量ということで、
1:55:13	15.68メートルという数値を設定されているんですけれども、
1:55:19	この数値っていうのはですね。
1:55:24	11ページのところにちょうど、
1:55:29	断面位置図というのが出ていって、
1:55:32	この防潮での、
1:55:34	総延長ちょうどこの青の線で書かれている部分ですけれども、
1:55:39	これだけの防潮多賀村長を持っているんですけれども、
1:55:43	この村長に対しての、すべての
1:55:48	部分に対しての最大値というのが15.68メートルだという、そういうことでしょうか。
1:55:58	北海道電力の高沢です。江藤のご認識の通りで11ページのこの膨張で周辺で、敷地周辺でこの防潮での他、
1:56:09	周り税務ボーラスでの探しての15.68メートルというところで、認識は間違いございません。以上です。
1:56:19	支社長の石田です。
1:56:21	そうであればですね、※の1のところにですね、その旨、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:27	総延長に対しての最大値が、
1:56:31	15.68 メーターであるという、それを、それを注記いただけないで しょうか。
1:56:37	はい北海道電力の立田です。
1:56:40	ちょうど丸のテキストボックスの方の一つ目の丸の後半には、一 応、敷地前面のと書いてございましたけども、
1:56:51	注記をして膨張て全域に対してのということをちょっと注記で記 載を追加させていただこうと思います。以上です。
1:57:01	規制庁吉田です。よろしく願いいたします。
1:57:05	それからですね、
1:57:08	5 ページと関連する話になりますけど、
1:57:12	6 ページの方にですね、6 ページの左側の表のところに、
1:57:20	入力津波高さについては、基準面が決まってないからということ で検討中的になってると。それに対して膨張てたファサをですね 今、
1:57:30	P19.0 メーターというふうに、
1:57:33	開いてあるんですけど、これは、
1:57:37	結局、
1:57:39	血糖値であるというそういう、
1:57:43	理解でよろしいんでしょうか。
1:57:59	北海道電力の高橋です。現在ご存知の通り、基準津波入力津波が まだ確定していないのでこれで確定かって言われると、まだ検討 中っていうところにはなりますけれども、
1:58:12	今この 15.68 ということでハザード側でご説明させていただいて ますけれども、ここから類推すると、大体 19 メートルで、基準適 合できるのではないかとということで書かせていただいている値にな ります。
1:58:30	セトのイシダです。
1:58:32	15.68 メーター、それから、入力津波高さ、その辺のところ、新 フタミが現行決まっていなくて、
1:58:41	一応暫定値であるという位置付けで、と書いていただいている向き 理解しています。
1:58:49	どういうふうにですね、逃亡ちや点の高さも、それらの
1:58:56	入力条件といいますか、そんな与条件といいますかそういうもの を踏まえて決められる数字なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:59:03	まだ、
1:59:06	向こうとしては、いけそうだというふうにあるのかもしれないんですが、まだこれは、
1:59:12	検討中というステータスなんではないのかなという理解なんですけれども、そのような扱いにしない。
1:59:21	のでしょうか。或いは、しないことの理由が何かあるのであればご説明いただきたいんです。
1:59:28	北海道電力の高橋です今おっしゃられた通り、入力津波等決まらなないと最終的に確定というふうにはならないので、山と暫定値であるというふうな、
1:59:40	書き方を今しようかなというふうに思いました。
1:59:45	以上です。
1:59:47	はい。規制庁の石田です。そのようなことで、暫定値ということで扱っていただければと思います。
1:59:56	はい。私からは以上です。
2:00:01	規制庁ふやすちょっと長なり話をさせていただきます。
2:02:43	規制庁藤です。今庁内打ち合わせが終わりました。じゃ、その次の質疑に、市岡飯塚の谷口さんが今こういったんで、じゃ、富井さんからいきます。
2:02:54	はい。規制庁の谷口です。
2:02:57	今 19 メートルの話、入力津波が決まらなないと、確定はしないっていう暫定値だというふうな話でしたけども、
2:03:06	その中で、設計の考え方、5 ページ目のところに書いてある、
2:03:14	津波の不確定性や今後の知見拡充に対するリスクを考慮してって書いてあるんですけど、
2:03:22	この辺の内容っていうのは、
2:03:25	津波の不確定性、今後の知見拡充っていうところに関するリスクってのはどういうものなのか具体的に話をしていただけませんか。
2:03:56	北海道電力の上原です。
2:03:59	5 ページの中で、裕度を増しているといったところの説明ですけれども、松波アノ不確定性も含めた評価ということで、今まだ入力津波、
2:04:10	決まっていっていったところにも関連するんですけども、そういう入力津波の中の審査の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:22	高さの考え方も変わる可能性もあるかなと、また
2:04:27	具体的にはゆないですけども今後、津波の知見拡充に伴って、
2:04:38	高さが高くなるといった可能性を考慮して、
2:04:40	こういった記載をしていると、そういう、
2:04:43	ものになります。
2:04:46	この辺
2:04:46	0津波の検討をされてる中での見通しみたいなものっていうのが、
2:04:53	ある程度、
2:04:53	定まってきてるのかなとちょっと思ってるので、
2:04:56	そういう中で、具体的な話特に6ページ目のところに書いてある
2:05:03	やつ、
2:05:03	町イトウのコール法の概念図のところに、
2:05:07	これ設計または評価に用いる入力津波が書いてあって、
2:05:12	その上にまた、外郭防護の裕度評価の参照とする津波高さとか、
2:05:17	書いた上で、設計の裕度として共有、許容津波高さちゅう決め
2:05:27	たりするっていうな表現になってるところ、この辺の表示と、
2:05:27	今の知見拡充とか不確定性っていう言葉と、
2:05:33	どういう、どういう関係にあるのかちょっとわからないんですけども、特に
2:05:38	5、5ページ目のこの考え方の部分と、6ページ目の考え方の部分
2:05:45	が、
2:05:45	ぴったし。
2:05:46	ファン、
2:05:47	合ってこない。
2:05:50	ていう感じがするので、その辺を具体的にちゃんと書かないとい
2:05:57	けないかなと思ってるんですけど。
2:06:01	そういうことをちょっと今、私の方は、
2:06:06	望んでるんですけども、
2:06:16	北海道電力の上原です。今5ページの方ではちょっと将来的な話
2:06:26	も記載している一方で、6ページの方で、長イトウの、
2:06:26	考慮方法を記載していて、こちらについては、ヒアリング等でも
2:06:26	ご説明している内容も含まれていると。
2:06:26	考えてございます。現状のちょっと全体を見渡したときに、そう
2:06:26	いったところが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:33	一緒になっているというか、わかりにくいのかなと、か考えましたので、ちょっとそのあたり、
2:06:42	記載については、考えたいと思っています。
2:06:47	そうですね特に今の6ページ目のところの書きっぷりとちょっとその辺を、
2:06:53	わかりやすくして表現をしていただけないかなと思ってんですけども。
2:06:58	結局この辺の概念のところの書きっぷりが、
2:07:02	都との連携がわからないので、きっちり書いておいてください。
2:07:11	ご指摘承知いたしました。ちょっと6ページの図の修正も先ほどお話ししたしましたが、わかりやすくなるように伝え考えたいと思います。
2:07:21	はい。よろしくお願いします。
2:07:24	それからもう1点、
2:07:28	今、7ページ目のところ、
2:07:31	7ページ目のところの、
2:07:35	高強度部。
2:07:38	ていう、
2:07:40	表現で、強度棒高強度の部分を作るっていうスタンスになってるんですけど。
2:07:46	この高強度部の設定高さの設定というのはどういう考え方で決めているものですか。特に、
2:07:53	硬い位置、
2:07:55	それから、実態の、
2:08:00	津波高さとはどう関係にあるのか、具体的に教えてください。
2:08:10	そうです。あと北海道電力の松本です。高強度部の方につきましては漂流物が当たったとしても壊れないところまでを、
2:08:22	高強度部の高さとして設定したいと考えております。
2:08:37	と、
2:08:38	移動電力のマツモトです。少々お待ちください。
2:08:48	北海道電力の松本です。
2:08:50	公共道具の高さの範囲につきましては設置許可段階でもう締めお示しさせていただきたいと考えております。はい。その辺ですよ。ね。だから、どう、どういう考え方で、
2:09:04	するのかってことも含めて、まだ決めてないんであれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:09	市詳細でやりますっていうふうになり、具体的に決めてるんであれば、具体的な、
2:09:15	考え方を記載を考えてください。
2:09:19	はい。北海道電力の松本です。この資料でまだ考え方、いつ説明するのか等がわかるようにちょっと補足させていただきたいと思えます以上です。
2:09:29	はい。
2:09:30	こちらからは以上です。
2:09:46	もう1点ありました。
2:09:47	12 ページ目のところ、
2:09:52	12 ページ目のところに置いて、
2:10:00	下から二つ目の項目のところに、
2:10:03	伴坂土佐層、また雨戻っそう。
2:10:09	梅本穴戸層の境界部において、下部のコンクリートに応力集中が生じると。
2:10:14	と下部コンクリートに立って厳しいって書いてあるところなんですけども、
2:10:19	この境界部、今、岩盤土佐層、それから、または梅田須藤層の境界部っていうのは、
2:10:27	この断層の表現の中では、
2:10:33	表現ができてないように思うんですけど。
2:10:36	具体的に岩盤、今の、
2:10:38	砂層めぐっソウノ1、
2:10:41	がわかるように、この部分は記載をしてください。
2:10:45	いかがでしょうか。
2:10:53	北海道電力の松元です。すいませんもう一度、お願いしてもよろしいでしょうか。申し訳ありません。
2:11:07	北海道電力の
2:11:10	松元です。2-2 断面のところで、当協会分といったところに赤丸をつけておりますがこちらが境界部だとわかるように、砂層と岩盤部の境界、もしくは埋め戻しど層と、
2:11:26	岩盤部の境界を、もっとはっきりと書くようにしたいと思えますが、よろしいでしょうか。はい。麻生帰ってください。基本的にここで岩盤土佐層または戻す。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:37	遅との境界って書いてあるのが読めないの、きっちりここに行きたい。
2:11:55	北海道電力のまつもつで承知しました。
2:11:57	はい。よろしくお願いします。以上です。
2:12:02	はい。規制庁藤原です。資料1-2に関して、規制庁側から、
2:12:07	フジイ参加の方も含めて、
2:12:09	ありますでしょうか。
2:12:11	よろしいですかね。はい。
2:12:14	そしたら、
2:12:19	そうだよね。
2:12:29	そしたら、資料1-4に基づいてヒアリングコメント回答リストの今日の
2:12:35	本日回答文の確認をさせていただきます。
2:12:38	1件だけかな。
2:12:40	18ページ、ごめん、18番14ページで、
2:12:53	ちょっと待ってくださいね。
2:13:07	資料1-4です。
2:13:09	資料1-4の、
2:13:11	18分の14ページ。
2:13:13	資料1-4です。
2:13:41	規制庁シライですけど、
2:14:23	そうですねと規制庁ジャスト今庁内で話したんですけども、今回大分要は構造がガラッと変わることによってそもそもこのコメントしてきちゃった内容の、
2:14:35	要は重要度というのが結構いろいろ変わるかもしれないというのがあってまずはちょっと大きな整理ですかね。というのはまずやいわへん構造変更に伴った、
2:14:45	大きな整理をした上で、今回出したコメントに関して個別にちょっとここでの確認が必要かっていうところはまた改めて確認させていただきたいと思いますんでちょっとこれ
2:14:55	継続という形で、またさせていただきたいと思います。今日幾つか確認はしたこともございますけどもそれと合わせてやっただくようお願いします。この件、いかがですかね。
2:15:07	はい北海道電力の辰田です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:10	今のコメントを了解しました。ちょっと構造が変わったというところ、このコメントがなくなったので改めて説明するというような記載からちょっと調整、
2:15:20	させていただこうと思います。
2:15:22	はい。規制庁藤原です。わかりました。はい。その他、規制庁側から追加の確認。
2:15:29	よろしいですか。
2:15:30	北海道電力から何か改めて確認したいこととか、
2:15:35	ありますか。
2:16:01	はい。北海道電力の辰田です特にございませぬ。規制庁藤間です。わかりました。じゃあ、今日のヒアリングについては以上としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。